

いちょうレポート



No.182 2016年1月 (有)アクティ 公認不動産コンサルティングマスター 室 和允
TEL: 042-652-3389 FAX: 042-651-4617 URL: <http://www.acticonsult.co.jp>

—民泊—

地下鉄の外国人向け案内パネルが乗り換えなど分かりやすいものに変える作業が報道されていました。海外からの旅行者が増えてきました。迎える側の各地では、外国人対応のため、窓口を設けて懸命です。世界各国の外国人訪問者数の2014年観光局資料では、フランスが1位で8370万人、次いで米国7475万人で、日本は22位の1341万人、アジアでは7位です。15年の訪日客は約1900万人へ、急増すると言われています。世界的に中間所得層が増加して、中国台湾韓国に次いで、タイからの観光客も増えています。今後は、マレーシアやインドネシアなどからも増えていくと見込まれています。

1. 魅力ある地域資源がある

海士町のモデル(No178)に学べば、大きな市場と需要をつくることができます。日本には、高品質な手づくりの農産物、水産物、各地域には魅力的、歴史的な地域資源と伝統文化があります。こうした地域資源、日本ブランドを世界へ発信して海外からの人々を取込み、増加することで、国内での旅行消費額が拡大してここに係わる雇用効果が期待できます。こうした創造は、国の課題である地域振興、各地の空き家問題、耕作放棄地の問題解決への相乗的効果ともなります。1964年来日の米国人、アレックス・カーさんはその感性で、徳島県祖谷(いや)溪谷で日本の山里の美しさと古民家、伝統を見出し、限界集落の再生をプロデュースしました。

2. 民泊

国家戦略特区として、大田区で民泊の事業説明会が始まりました。民泊とは、個人が所有する住宅を短期宿泊用に貸し出すことです。厚労省と観光庁は、法整備の検討に入っています。第一段階として、今春に住宅をカプセルホテルなどと同じ「簡易宿所」として、自治体が営業許可する仕組みをつくり、次に住宅地でのサービス禁止などの制約のある旅館業法とは別に法整備をする予定です。全国どこでも一定のルールで民泊ができることを期待します。これは、地域に賑わいを起こして産業振興にも大きく寄与できるものだからです。

米国の民泊マッチングサイトAirbnb(エアビーアンドビー)では、昨年度日本国内の利用者数は前年比4倍増となり、約27万人が民泊を利用しました。同サイトに登録されている約13000件の物件の多くは、現行法での基準(旅館業法)を満たすものは少なく、違法です。いつものことですが、新しい業態が生まれるとき、イノベーションとフロンティアの開拓には、既存の法が障害になります。法の整備が急がれます。

観光資源で取り込んだ世界の人々を、民泊で農山漁村地域へ呼び込むことができます。創意工夫する農山漁村は人材も必要です。海外から人を受け入れることは、彼等の文化も受け入れることです。

3. 着地型観光、ニューツーリズム

先日テレビで、外国人留学生が長野富山地方の各地をまわり、地域の人々と交流する番組がありました。ここで留学生が初めて見る日本の郷土文化への反応には、興味深いものがありました。若い感性豊かな彼等が一番印象に残ったのは、立山からの伏流水を利用した共同の洗い場でした。そこは、洗い場を通して互いに思いやる豊かな共同体であり、その土地の日常の姿です。水の流れに堰を作り、上流では飲み水に使い、次の堰では野菜を洗い、その下では洗濯に使います。生き生きと輝いている地元の女性達は、ここは私達の宝だと言います。忘れられていた地域固有の資源があります。

旅行者を受け入れる各地域(着地側)の人達が、観光資源をもとにした旅行や体験版プログラムを企画・運営する形を着地型観光と呼びます。これまでにはない、多様化した体験するテーマ性のある旅が求められてきました。新しいタイプの観光はニューツーリズムと呼ばれます。着地型観光であり、地域の人々が発信する新たな観光の形です。農山漁村の伝承文化などを体験するグリーンツーリズム、日本文化や歴史を探究するエコツーリズム、工場夜景クルーズなどがあります。最近では、アニメや映画のロケ地を巡るアニメ、フィルムツーリズムが増えており、埼玉県久喜市、種子島、大洗町などが活気を取り戻して話題となっています。